

～サクラビア便り～

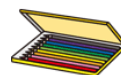


「みそか」とは 30 日のことで、1 年の最後の日を「おおみそか」と言います。無事に一年を振り返れることに感謝して、まもなくやってくる新年への想いを馳せてみてはいかがでしょうか。この日は年越しそばを食べる習慣になっています。起源は定かではありませんが、そばを食べるのは「細長いそばのように寿命が長く、幸せに暮らすことが出来るように」という意味と、「そばによって五臓の穢れを取る」という意味があるようです。大晦日、ご家族の皆様も 1 年間を振り返り、年越しそばを堪能してみてもいかがでしょうか。



2017 年 11 月便

【作品展】



文化の日になんで、1 年間みんなで作った作品を集め、作品展を開催いたしました。塗り絵、貼り絵、工作…を展示しました。私が描いた絵は「あれだ!」「これだ!」「これかな?」と大騒ぎ!!(*_*; どうにか制作中の思い出もよみがえり、一件落着!!…皆様、誇らしげな表情で「上手だなあ」、「売れるよ～」と…満足感と達成感を感じられていた様子でした。

【元気は食べ物から!!】



風邪かな、と感じたら食べ物のパワーでウイルスを跳ね返しましょう。まずは発汗作用のあるネギや生姜、葛湯などで体を温めて免疫力をアップ。熱がある時はうどんや卵、消化の良いものでエネルギーを補給します。今年は頂いたみかんの皮を捨てずに蜂蜜漬けを作りました。利用者様は早く食べたい!と今から楽しみにしています。(^ u ^)

【赤飯】

七五三やお祭り、お祝い事などの吉事に赤飯を炊く風習は、今では一般的になりました。昔は、赤色には邪気を払う効果があると信じられ、凶事に赤飯を炊いて食べていたものが、反転したという説があります。味付けには地域性があり、北海道では甘納豆を加えたり、東北地方ではザラメ、砂糖などを加えて甘くしたりするそうです。関東では、小豆は腹が破れやすいことから縁起が悪いとして、ささげを用いることも。そんな話をしながら、お赤飯を炊いてみました。利用者様のお話しによると、お赤飯で最も大事なものは!!何を隠そう「ごま塩!」だそうです。(^ . ^)y-.。oOみんな笑顔で召し上がられました。



※11 月 15 日はボランティア活動員による、合唱会が行われました。